

2026 年 10 月入学

広島大学大学院人間社会科学研究科（修士課程）

広島大学大学院先進理工系科学研究科（修士課程）

学生募集要項

広島大学・グラーツ大学国際連携サステイナビリティ学専攻

広島大学・ライプツィヒ大学国際連携サステイナビリティ学専攻

◆一般選抜

（広島大学をホーム大学として希望する受験者用）

2025 年 12 月



広島大学

※本募集要項は、広島大学を「主たる大学」(ホーム大学)として2026年10月に入学を希望する志願者を対象とします。
グラーツ大学又はライプツィヒ大学をホーム大学として希望する者は、本要項により出願することはできません。

【ジョイント・ディグリー・プログラム(国際連携専攻)とは?】

ジョイント・ディグリー・プログラムは、複数の大学が連携して教育課程を共同で設計し、修了時に**連名による単一の学位**を授与する制度です。

広島大学は、グラーツ大学とライプツィヒ大学を連携大学とし、サステイナビリティ学(持続可能な開発)をテーマとする二つのジョイント・ディグリー・プログラムを設けています。学生は、2年間の修士課程のうち、広島大学と連携大学(グラーツ大学又はライプツィヒ大学)で1年間ずつ学修し、修了者には、両大学共同の学位「修士(学術)」(Master of Science)が授与されます。

本プログラムに参加する学生は、異なる国や文化の中で学びながら、各大学の専門性を活かした高度な教育を受けることができます。これにより、国際的な視野を広げるとともに、語学力や異文化適応力を自然と身につけることができるのが大きな特長です。修了時には、連携大学と共同で授与される学位を取得できるため、国内外での進学や就職において高い評価を得ることが期待されます。また、海外の学生や教員との交流を通じて、将来にわたる貴重な人的ネットワークを築くことができる点も、本プログラムの魅力の一つです。

広島大学のジョイント・ディグリー・プログラム



専攻名

大学院人間社会科学研究科(修士課程) 広島大学・グラーツ大学国際連携サステイナビリティ学専攻
大学院先進理工系科学研究科(修士課程) 広島大学・ライプツィヒ大学国際連携サステイナビリティ学専攻



海外の連携大学

大学院人間社会科学研究科: グラーツ大学(オーストリア)
大学院先進理工系科学研究科: ライプツィヒ大学(ドイツ)



教育課程・学位

- ・2年間の修士課程のうち1年間を広島大学で、もう1年間を海外の連携大学で学修
- ・2大学(「広島大学ーグラーツ大学」又は「広島大学ーライプツィヒ大学」)の教員による共同指導
- ・修了時には両大学共同の「修士(学術)」の学位を授与



各専攻の特長

広島大学・グラーツ大学国際連携サステイナビリティ学専攻

開発経済学や公共政策学分野に特化した授業科目を提供している広島大学と、持続可能な開発におけるビジネスや経営分野に特化したプログラムを提供しているグラーツ大学との連携により、社会科学的アプローチで研究や実務を遂行できる能力を涵養します。

広島大学・ライプツィヒ大学国際連携サステイナビリティ学専攻

学生は、環境的に持続可能な開発(環境持続可能性)にかかる課題解決のための技術や自然科学を扱う理工学的アプローチによる計画、開発、実装、分析、評価について学修します。広島大学とライプツィヒ大学の特長を生かし、環境学、都市工学、エネルギー工学、資源管理工学などの分野において、学際的・多元的アプローチで研究や実務を遂行できる能力を涵養します。



入学定員 各専攻2名



使用言語 英語 ※語学能力の要件については、次ページ(出願前の注意事項【語学要件】)を参照してください。



経済的支援 広島大学をホーム大学とする学生には、以下の経済的支援制度が設けられています。

- ・検定料: 免除(本専攻の出願者は、検定料30,000円が免除されます。)
- ・入学科: 免除(本専攻の入学予定者は、入学科282,000円が免除されます。)
- ・授業料: 本専攻の入学者のうち、成績優秀と判断された者は、授業料(年額535,800円、最長2年間)が免除されます(※)。
- ・奨学金: 本専攻の入学者には、広島大学国際連携専攻奨学金(冠奨学金)として、1学期(セメスター)あたり200,000円が支給されます。

※授業料免除の成績判定基準

第1年次: 出願時の成績証明書(学業成績係数が3点満点中2.3以上(*)及び入学試験の成績により、学業優秀と認められた者)
第2年次: 第1年次の学業成績係数が3点満点中2.3以上(*)の者

*[参考] 学業成績係数の算出方法

$(\text{秀} \cdot \text{優の単位数} \times 3) + (\text{良の単位数} \times 2) + (\text{可の単位数} \times 1) + (\text{不可の単位数} \times 0) / \text{登録単位数}$

※本専攻では、広島大学と連携大学(グラーツ大学又はライプツィヒ大学)をセメスター単位で移動して学修しますが、本入試による広島大学の入学者は、連携大学に入学科、授業料を支払う必要はありません。

◆ 学生の移動（広島大学をホーム大学とする場合）

本専攻は10月入学であり、2年間の教育課程のうち、1年間を外国の連携大学（グラーツ大学又はライプツィヒ大学）で学びます。

滞在（学修）する大学			
第1 セメスター （秋学期）	第2 セメスター （春学期）	第3 セメスター （秋学期）	第4 セメスター （春学期）
広島大学	グラーツ大学 又は ライプツィヒ大学	グラーツ大学 又は ライプツィヒ大学	広島大学

◆ 出願前の注意事項

- ・ 研究指導を希望する教員とあらかじめ連絡を取ってください（7～8ページの「教員一覧」参照）。

[語学要件]

- ・ 出願者が「英語を第一言語とする者」、あるいは、「英語で学士課程又は修士課程を修了した者」以外の場合は、IELTS、又はTOEFL、Cambridge EFL、TOEIC®テストについて、本専攻が定める以下の最低基準（※）以上の英語力を有することを出願要件とします。

（※）最低基準

- ・ IELTS 6.5以上（ただし、writing sectionが6.0以上）
- ・ TOEFL iBT-95 以上（2026年1月20日までに受験した場合）／iBT 5（2026年1月21日以降に受験した場合）
- ・ Cambridge EFL 次の二つの証明のうち、1つを満たすこと
 - － Cambridge C1 Advanced (CAE) 180 points以上
 - － Cambridge C2 Proficiency (CPE) C 以上
- ・ TOEIC® 公開テスト L&R 又は TOEIC®-IP L&R 945 点以上

◆ 出願・試験日程

	期日	備考
出願期間	2026年1月9日～2026年1月22日	郵送
学力検査	2026年2月4日～2月18日	研究計画書等を含む書類審査及びオンラインによる口述試験
合格発表	2026年3月3日（予定）	

目次

入試について

I. アドミッション・ポリシー	P1
II. 専攻の概要及び募集人員	P2
III. 出願資格	P2
IV. 出願手続	P3
V. 受験上及び修学上の配慮を必要とする者の事前相談	P5
VI. 入学者選抜方法等	P5
VII. 入学手続	P6
教員一覧	P7

(キャンパス内全面禁煙)

広島大学は、2020年1月からキャンパス内全面禁煙です。

広島大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「国立大学法人広島大学安全保障輸出管理規則」を定め、外国人留学生の受入に際し厳格な審査を実施しています。それにより、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、注意してください。

I. アドミッション・ポリシー

人間社会科学研究科 アドミッション・ポリシー

人間社会科学研究科では、以下のような志や意欲をもち、それに必要な基礎学力を持つ学生の入学を求める。

1. 幅広い教養とともに、人文科学、社会科学や教育科学及び関連する学問領域における高度な知識と研究能力を身に付け、多角的視点から「持続可能な発展を導く科学」としての平和科学の創生を目指す人
2. 幅広い教養とともに、人文科学、社会科学や教育科学及び関連する学問領域における高度な知識と研究能力を身に付け、現在の人類社会が抱える課題、あるいは今後抱えるかもしれない課題にチャレンジすることにより、多様性を育む自由で平和な国際社会の構築に貢献しようとする意欲を持つ人

人間社会科学研究科は、これらの人を受け入れるため、そのディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ、面接試験、学力試験、外部試験等を用いた多面的・総合的な評価による入学者選抜を実施する。

広島大学・グラーツ大学 国際連携サステイナビリティ学専攻 アドミッション・ポリシー

本専攻では、SDGs達成に向けた地域と世界の喫緊の課題、とりわけ、貧困の削減に対して、開発学における国際協力論を基盤にし、社会科学的アプローチで研究や実務を遂行できる能力を有するとともに、大学・研究機関、政府・国際機関、民間企業、NGO等において、他者と協働できる高いコミュニケーション能力を有し、国際的な労働市場で高い就職力を発揮できる人材を養成する。

上記人材を養成するため、本専攻では、以下のような志や意欲を持ち、関連分野の基礎学力を持つ学生の入学を求める。

1. 一定程度の英語力を有し、持続可能な開発の問題、特に、国際的な広がりがある持続可能性の問題に関心がある人
2. 開発学における国際協力論を基盤に、学際的な視点から複雑プロセスを分析、評価する意欲を持つ人

本専攻では、これらの人を受け入れるため、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ、口述試験、提出書類及び外部試験等を用いた多面的・総合的な評価による入学者選抜を実施する。

先進理工系科学研究科 アドミッション・ポリシー

先進理工系科学研究科先進理工系科学専攻では、以下のような志や意欲をもち、関連分野の基礎学力を持つ学生の入学を求める。

1. 先進的で高度な学術研究や学際的研究を推進する意欲を有する人
2. 理学、工学、情報科学に関連する分野の研究者や技術者など、専門性を有する職業に従事することを目指す人
3. 幅広い教養と共に、理学、工学、情報科学に関連する学問領域における知識と研究能力を身に付け、多角的視点から「持続可能な発展を導く科学」の構築や地域及び国際社会の課題解決への熱意を有する人
4. 社会人としての良識や倫理観を身に付けた人

これらの学生を受け入れるため、本研究科のディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ、口述試験、筆記試験、外部試験等を用いた多面的・総合的な評価による選抜を実施する。

広島大学・ライプツィヒ大学 国際連携サステイナビリティ学専攻 アドミッション・ポリシー

本専攻では、SDGs達成に向けた地域と世界の喫緊の課題、とりわけ、途上国の急激な都市化に伴う環境問題を中心とした開発課題に対して、環境学における持続可能な開発論を基盤にし、理工学的アプローチで研究や実務を遂行できる能力を有するとともに、大学・研究機関、政府・国際機関、民間企業、NGO等において、他者と協働できる高いコミュニケーション能力を有し、国際的な労働市場で高い就職力を発揮できる人材を養成する。

上記人材を養成するため、本専攻では、以下のような志や意欲を持ち、関連分野の基礎学力を持つ学生の入学を求める。

1. 一定程度の英語力を有し、持続可能な開発の問題、特に、国際的な広がりがある持続可能性の問題に関心がある人
2. 環境学における持続可能な開発論を基盤に、学際的な視点から複雑プロセスを分析、評価する意欲を持つ人

これらの学生を受け入れるため、本研究科のディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ、口述試験、提出書類及び外部試験等を用いた多面的・総合的な評価による選抜を実施する。

Ⅱ. 専攻の概要及び募集人員

本学生募集要項の選抜における募集人員は、下表の「募集人員」欄のとおりです。

2026 年 10 月入学

専攻名	相手大学(国)	授与される 学位	使用 言語	募集人員 (広島大学をホーム 大学とする学生)
人間社会科学研究科(修士課程) 広島大学・グラーツ大学国際連携 サステナビリティ学専攻	グラーツ大学 (オーストリア)	修士(学術)	英語	若干名
先進理工系科学研究科(修士課程) 広島大学・ライプツヒ大学国際連携 サステナビリティ学専攻	ライプツヒ大学 (ドイツ)	修士(学術)	英語	若干名

Ⅲ. 出願資格

◇次の各号のいずれかに該当する者又は2026年9月30日までに取得見込みの者。

◇出願資格9又は10により出願しようとする者は、事前審査を行いますので、「出願資格事前審査について」の項を参照してください。

1. 日本の大学を卒業した者
2. 学校教育法(昭和22年法律第26号)第104条第7項の規定により独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者
3. 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
4. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
5. 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
6. 外国の大学その他の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者
7. 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であること)で文部科学大臣が別に指定したものを修了した者
8. 文部科学大臣の指定した者(昭和28年2月7日文部省告示第5号)
9. 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者で、その後に入学させる本学大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
10. 本学大学院において、個別の入学資格審査により、日本の大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したもの

出願資格事前審査について

出願資格9又は10の志願者については、次のとおり事前審査を行います。

※事前審査の対象者は、国際協力学系支援室宛てE-mailにて申請書等の所定様式を請求してください。

1. 事前審査書類提出期間

2025 年 12 月 11 日から 12 月 17 日 17 時まで(日本標準時間、必着)

2. 事前審査提出書類

- ◇各証明書は原本を提出してください。証明書が新たに発行されない場合は、原本証明（原本と同じであると公的機関（発行機関が望ましい。）が証明した写し(Certified Copy))を認めます。
- ◇提出書類に虚偽の記載や詐称があることが判明した場合は、合格・入学を取り消します。

出願資格	提出書類	提出方法
出願資格9	① 事前審査申請書（所定様式を使用） ② 履歴書（所定様式を使用） ③ 学業成績証明書（学部及び大学院の両方） ④ 大学院の在学証明書又は修了証明書	①・② →データ(Word)をE-mailで送付 ③・④ →スキャンデータ(PDF)をE-mailで送付後、原本を郵送
出願資格10 (注)	① 事前審査申請書（所定様式を使用） ② 履歴書（所定様式を使用） ③ 大学を卒業した者と同等の学力を有することを示す本人による説明書（A4・2枚程度、所定様式を使用） ④ 最終学歴の学業成績証明書 ⑤ 最終学歴の卒業証明書 ⑥ 所属長による研究経歴の証明書（研究経歴のある者）	①・②・③ →データ(Word)をE-mailで送付 ④・⑤・⑥ →スキャンデータ(PDF)をE-mailで送付後、原本を郵送

(注) 出願資格10について、中国（台湾、香港、マカオを除く。）の大学を卒業（修了）した、あるいは卒業（修了）見込みの者は、**IV. 出願手続, 1. 出願書類の備考1**を参照すること。

3. 事前審査書類提出先

IV. 出願手続の 2. 出願方法(2) 出願書類の提出先・問合せ先を参照してください。

○郵送で提出する書類（各証明書の原本）

事前審査書類は所定の期日までに到着するように郵送する必要があります。郵送する際は必ず書留郵便とし、封筒表面に「出願資格事前審査申請書在中(ジョイント・ディグリー・プログラム)」と朱書きしてください。

○E-mailで提出する書類

件名に「出願資格事前審査書類の提出(ジョイント・ディグリー・プログラム)」と表記の上、Word・PDF等の電子データをE-mailに添付し送信してください。また、必ず提出書類ごとに電子データを分けて、正しいファイル名称を付してください。

ファイル名称の例…「①事前審査申請書」など

4. 事前審査結果の通知

事前審査結果については、2025年12月25日までに、本人あてにE-mailで通知します。

IV. 出願手続

1. 出願書類(郵送指示のある証明書は、原本を書留で郵送するか持参すること。)

◇出願書類の所定様式については、ホームページからダウンロードしてください。

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/adse/news/62631>

◇次の表に掲げる書類等のすべてを一括して、出願期間内に**2. 出願方法の(2) 出願書類の提出先・問合せ先**へ提出してください。なお、出願資格事前審査で提出済の場合は、再提出不要です。

◇各証明書(語学試験の成績証明書を除く。)は原本を提出してください。証明書が新たに発行されない場合は、原本証明(原本と同じであると公的機関(発行機関が望ましい。))が証明した写し(Certified Copy))を認めます。

◇提出書類に虚偽の記載や詐称があることが判明した場合は、合格・入学を取り消します。

No.	提出書類	摘 要	提出方法	
			郵送	E-mail
1	入学志願票	所定様式を使用	○	○ Word
2	研究計画書	地球規模の持続可能な開発の問題に焦点をあてて、英語1,000ワード以内で研究計画を記載すること(所定様式を使用)。	○	○ Word

3	学業成績証明書	出身大学長(学部長)が作成したもの。 ※大学院在学中の者あるいは修了者は、大学学部・大学院の両方について提出すること。 ※学業成績証明書に成績評価基準の説明がない場合は、別途評価基準を説明した出身大学発行の書類を提出すること。	○	○ PDF
4	卒業(修了)証明書 又は 卒業(修了)見込証明書	出身大学長(学部長)が作成したもの。 ※大学院在学中の者あるいは修了者は、大学学部・大学院の両方について提出すること。 ※卒業(修了)者の場合は、証明書に学位情報が記載されていることを確認すること。 ※中国(台湾、香港、マカオを除く。)の大学を卒業(修了)した、あるいは卒業(修了)見込みの者は、備考1を参照すること。	○	○ PDF
5	語学試験の成績 証明書等	以下のいずれかの書類を提出すること(英語を第一言語とする者は提出不要)。 ・英語の能力を証明する書類(IELTS, TOEFL, Cambridge EFL, TOEIC®テスト) ・学士課程(又は修士課程)を英語で修了していることを示す書類 ※入学試験日から原則過去2年以内に受験したスコアを提出すること。 ※IELTS、又はTOEFL、Cambridge EFL、TOEIC®テストについて、本専攻が定める以下の最低基準以上の英語力を有することを出願要件とします。 [最低基準] ・IELTS 6.5以上(ただし、writing sectionが6.0以上) ・TOEFL iBT-95以上(2026年1月20日までに受験した場合) iBT 5(2026年1月21日以降に受験した場合) ・Cambridge EFL 次の二つの証明のうち、1つを満たすこと - Cambridge C1 Advanced (CAE) 180 points以上 - Cambridge C2 Proficiency (CPE) C 以上 ・TOEIC® 公開テスト L&R 又は TOEIC®-IP L&R 945 点以上		○ PDF
6	パスポートの写し	出願の時点で日本国内に在住する外国籍の志願者は必ず提出すること(氏名と顔写真のページ)。		○ PDF
7	在留カードの写し	出願の時点で日本国内に在住する外国籍の志願者は必ず提出すること(両面のコピー)。		○ PDF
8	受験承諾書	1. 現に他の大学院に在籍している者は、在籍大学長(研究科長)の承諾書を提出すること。 2. 現に民間企業又は国際機関・政府機関・自治体・教育機関等に在職している者で、現職のまま本学大学院に入学しようとするものは、本学大学院受験についての所属長の承諾書を提出すること。		○ PDF

備考1: 中国(台湾、香港、マカオを除く。)の大学を卒業(修了)した、あるいは卒業(修了)見込みの者は、以下すべての書類をE-mailで提出すること。

- ・**既卒者** : a. 毕业证书 及び 学士(硕士)学位证书(原本は不要)
b. 学歴証書電子登録票(教育部学历证书电子注册备案表)

- ・**卒業(修了)見込者** : a. 卒業(修了)見込証明書
b. オンライン在籍認証レポート(教育部学籍在线验证报告)

上記のうち、書類bは中国教育部認証システム(中国高等教育学生信息网 <https://www.chsi.com.cn/xlcx/bgys.jsp>)より取得すること。なお、発行手数料は志願者が負担すること。

また、提出時点でWeb認証の有効期限が15日以上残っていることを確認すること。

備考2: 英語の語学試験成績証明書を提出できない場合にのみ、大学において英語による教育課程を卒業した旨の大学発行の証明書提出で替えることができる。

備考3: 提出書類のうち**英語又は日本語以外によるものは日本語又は英語の訳を付し、原本と訳の両方を提出すること。**

備考4: GRE(General Test)を受験した者は、成績証明書を提出してください。(提出は必須ではありません。)

※成績証明書は、出願期間内にETSより直接広島大学に送付されるよう手配してください(機関コード:2358)。

ただし、受験者本人へ送付された成績証明書も受け付け可とします。

2. 出願方法

出願者は、志望する指導教員に事前に了解を得た上、出願書類を一括し、下記出願期間中に提出してください。

(1) 出願期間

2026年1月9日から1月22日 17時まで（必着）

○郵送で提出する書類(各証明書の原本)

出願書類は所定の期日までに到着するように郵送する必要があります。郵送する際は必ず書留郵便とし、封筒表面に「**出願書類在中(人間社会科学研究科又は先進理工系科学研究科 ジョイント・ディグリー・プログラム)**」と朱書きしてください。

○E-mailで提出する書類

件名に「**出願書類の提出(人間社会科学研究科又は先進理工系科学研究科 ジョイント・ディグリー・プログラム)**」と表記の上、Word・PDF等の電子データをE-mailに添付し送信してください。また、必ず提出書類ごとに電子データを分けて、**1. 出願書類**に記載されているファイル名称を付けてください。
ファイル名称の例…「**③学業成績証明書(学部)**」など

(2) 出願書類の提出先・問合せ先

〒739-8529 東広島市鏡山1-5-1

広島大学大学院人間社会科学研究科（国際協力学系支援室）

広島大学大学院先進理工系科学研究科（国際協力学系支援室）

TEL：(082)424-6398, 6902

E-mail: koku-gaku@office.hiroshima-u.ac.jp

(3) その他

- ① 受付後の記載内容の変更は、認めません。
- ② 原則として出願書類は返還しません。
- ③ 出願書類等に記載された個人情報(氏名、生年月日、性別、その他の個人情報等)は、入学者選抜及び合格通知並びに入学手続を行うために利用します。合格者の入学後は、学生支援関係(奨学金申請、授業料免除申請等)業務を行う目的をもって本学が管理します。他の目的での利用及び本学の関係教職員以外への提供は行いません。
なお、個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結した上で、コンピュータ処理をするため、関連業務を外部の事業者へ委託することがあります。

V. 受験上及び修学上の配慮を必要とする者の事前相談

障害のある者等、受験上及び修学上の配慮を必要とする志願者は、次の事項を記載した申請書(様式は定めません。)を国際協力学系支援室に提出し、相談してください。

1. 相談の時期：2025年12月11日から12月17日まで

2. 申請書の記載内容

- (1) 志願者の氏名、住所、連絡先電話番号
- (2) 出身大学名、出願予定のプログラム
- (3) 障害等の種類・程度(現に治療中の者は、医師の診断書を添付してください。)
- (4) 受験上の配慮を希望する事項
- (5) 修学上の配慮を希望する事項
- (6) 出身大学でとられていた特別措置
- (7) 日常生活の状況

VI. 入学者選抜方法等

1. 入学者選抜方法

学力検査は、書類審査(学業成績証明書、研究計画書その他の出願書類)及び口述試験について行い、研究意欲、専門分野の知識・応用力、英語の語学力、課題解決能力、適性等に関する評価を行います。

2. 学力検査等実施日時

口述試験

2026年2月4日から2月18日までの間

※口述試験はオンラインで実施します。具体的な日時や接続方法等については、出願後に志望指導教員と調整することになります。

3. 評価基準

(1) 書類審査及び口述試験の判定は、以下の3段階により行い、Cを不合格とします。

A	非常に優れている(入学に最も適当であると認められるもの)
B	優れている(入学に適当であると認められるもの)
C	劣っている(入学に不適当であると認められるもの)

(2) 総合判定は、合格又は不合格とし、書類審査及び口述試験の両方に合格した者を合格とします。

4. 合格者発表

2026年3月3日(予定)

合格者には「合格通知書」を送付します。電話/E-mail等による照会には応じません。

VII. 入学手続

1. 入学手続期間

3月上旬の指定する期間に入学手続を行うことになります。詳細については別途お知らせします。

2. 納入金

入学料	免除(※本専攻の入学予定者は、入学料282,000円が免除されます。)
授業料(年額)	本専攻の入学者のうち、成績優秀と判断された者は、授業料535,800円が免除されます(※)。
奨学金	本専攻の入学者には、広島大学が国際連携専攻奨学金として、1学期(セメスター)あたり200,000円の経済的支援を行います。

※授業料免除の成績判定基準

- 第1年次:出願時の成績証明書(学業成績係数が3点満点中2.3以上(*)及び入学試験の成績により、学業優秀と認められた者)
第2年次:第1年次の学業成績係数が3点満点中2.3以上(*)の者

*[参考] 学業成績係数の算出方法

$(\text{秀・優の単位数} \times 3) + (\text{良の単位数} \times 2) + (\text{可の単位数} \times 1) + (\text{不可の単位数} \times 0) / \text{登録単位数}$

※本入試による広島大学の入学者は、連携大学に入学料、授業料を支払う必要はありません。

3. 注意事項

- (1)合格後あるいは入学後、提出書類に虚偽の記載や詐称があることが判明した場合、合格・入学を取り消します。
(2)卒業(修了)見込で出願して合格した者が、入学日までに卒業(修了)できなかった場合は、入学を取り消します。

教員一覧

人間社会科学研究科 広島大学・グラーツ大学国際連携サステナビリティ学専攻

職名	氏 名	教 育 及 び 研 究 内 容
教 授	金子 慎治	途上国の持続可能な発展に関する研究 アジア地域の環境政策に関する研究
教 授	シャリフィ アユーブ	都市計画及び都市政策，環境計画及び環境管理，気候政策，持続的な都市
教 授	高橋 与志	人的資源開発・管理論，技術経営論，中小企業経営論
准教授	ジョシ ニラズ プラカシュ	気候変動，農業技術，農業経済，農村開発に関する研究
准教授	近藤 雅征	気候変動対策評価，温室効果ガス動態解析，熱帯地域における土地利用変化研究， 地球の気候調整に関する理論研究 モデルシミュレーション，リモートセンシング，さまざまな統計データを駆使し， 上記の研究を国，亜大陸，全球などの広域スケールで行っている。
准教授	カロ バーネット ヨハン	政治経済，投票行動，国際協定，平和と紛争，行動経済学，実験経済学， 開発経済学
准教授	陳 姝凝	持続可能な成長と福祉の評価(包括的富を含む)，開発経済学：資源利用と環境 政策を統合した分析，環境・資源経済学：持続可能性と政策評価
助 教	ハーン グラム ダスタギール	開発政策の社会・経済的インパクト評価
助 教	西條 春信	比較政治，歴史的な政治経済，権威主義の政治学
助 教	ミッチェル オースティン マイケル	民主主義と独裁，政府予算と財政，開発の政治経済学，平和と紛争

注) △印は、2026年10月入学者の標準修業年限内に退職等が予定される教員であるので、この教員を指導教員として志願する者は、出願時に人間社会科学研究科(国際協力学系支援室)に問い合わせること。

注) 募集する指導教員が異動等により変更になることがある。その場合には、人間社会科学研究科ホームページに掲載するので、相談前にあらかじめホームページを確認すること。

教員一覧

先進理工系科学研究科 広島大学・ライプツィヒ大学国際連携サステイナビリティ学専攻

職名	氏 名	教育及び研究内容
教 授	久保田 徹	開発途上国における持続可能な開発の実現を目指した建築・都市環境学
教 授	松村 幸彦	超臨界水によるバイオマスからの水素の製造, 超臨界水中における伝熱と化学反応の制御, バイオマスの水熱前処理, ケミカルヒートポンプ, ナノ結晶の構造分析, カーボンナノチューブの基礎的研究。
教 授	フェン タオ	都市計画, スマートモビリティ, 交通行動, 交通ネットワーク分析, データ駆動型技術, ビルトエンバイロメントとモビリティ, 空間計画, 都市環境解析, スマートエネルギーの意思決定, 都市計画のためのビッグデータとマシンラーニング
教 授	シャリフィ アユーブ	都市気候変動の緩和と適応, 自然を基盤とした解決策, グリーンインフラストラクチャー, 都市の微気象, 都市のレジリエンス, 持続可能な都市構造, 評価ツール
教 授	チャン ダン スアン	バイオマスエネルギー技術の開発と途上国への適用 農業生態学及び持続可能な農業技術の開発
教 授	李 漢洙	途上国を対象とする再生可能エネルギー評価及び管理技術, 沿岸災害・防災・減災のための数値モデル, 気候変動による災害・エネルギー環境変化予測
教 授	力石 真	都市インフラのスマート化, 交通計画, 都市計画, 交通行動分析, 交通調査設計, 交通ネットワーク分析, 防災・減災, リスク解析
教 授	保坂 哲朗	生態学及び生態系管理学の教育・研究
准教授	鹿嶋 小緒里	環境要因と健康に関する疫学研究 空間統計に基づく保健医療体制の評価等に関する研究
准教授	塚井 誠人	経済分析, 統計モデル, 数理計画モデル, ネットワーク理論を駆使した循環型社会, 低炭素社会, 都市・交通システムに関する分析・計画手法の開発。特に, 希少金属のマテリアルフロー, 低公害車の普及予測, 鉄道や航空などの大量輸送機関の需要, 及び大量自動観測交通解析のための統計手法の開発, テキスト解析を通じた合意形成

注) △印は, 2026年10月入学者の標準修業年限内に退職等が予定される教員であるので, この教員を指導教員として志願する者は, 出願時に先進理工系科学研究科(国際協力学系支援室)に問い合わせること。

注) 募集する指導教員が異動等により変更になることがある。その場合には, 先進理工系科学研究科ホームページに掲載するので, 相談前にあらかじめホームページを確認すること。

2025年度広島大学学生募集に伴う試験成績（個人情報）の開示について

個人に関する入試情報（以下「個人情報」という。）は、2025年度学生募集に伴う本研究科の大学院入試（一般選抜）を受験した者（以下「開示申請者」という。）に限り開示します。

項目	開示内容
試験成績	評価 書類審査及び口述試験の段階評価

開示に関する手続の流れ

- (1) 「広島大学大学院人間社会科学研究科（又は大学院先進理工系科学研究科）入試情報開示申請書」を次のいずれかの方法で入手してください。
 - ① 国際協力学系支援室へE-Mailにて請求してください。電子媒体をお送りします。
(koku-gaku@office.hiroshima-u.ac.jp)
 - ② 返信用封筒（本人の住所・氏名を明記し、定型郵便物50gまでの切手を貼った定形封筒（長形3号封筒（120mm×235mm））を同封し、「入試情報開示申請書請求」と明記の上、国際協力学系支援室宛て請求してください。
- (2) 以下の書類を同封の上、開示請求期間内に直接又は郵送により申請してください。
 - ① 必要事項をすべて記入した「広島大学大学院人間社会科学研究科（又は大学院先進理工系科学研究科）入試情報開示申請書」
 - ② 運転免許証等の身分証明書のコピー。
 - ③ 返信用封筒（長形3号封筒（120mm×235mm））に受験者本人の郵便番号、住所、氏名を明記し、定型郵便物50gまでの簡易書留分の切手を貼ったもの。）

なお、申請書等に不備があるときは、修正を求めることがあります。

- (3) 本研究科が申請を受理した日から30日以内に、「広島大学大学院人間社会科学研究科（又は大学院先進理工系科学研究科）入試情報開示決定通知書」を開示申請者本人へ簡易書留により通知します。

開示請求期間

入学試験を実施した年度の翌年度の10月15日から11月30日（消印有効）まで

＜試験成績（個人情報）の開示に関する申請及び問合せ先＞	
国際協力学系支援室	〒739-8529 東広島市鏡山1丁目5番1号 Tel 082-424-6902 E-mail: koku-gaku@office.hiroshima-u.ac.jp

独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律に基づく開示請求及び問合せ先等

上記の入試個人情報の開示のほか、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律に基づく個人情報の開示請求制度により行うこともできます。

本制度の詳細は、本学ホームページ「トップページ」→「法人情報」→「個人情報保護」→「個人情報の開示請求制度」(https://www.hiroshima-u.ac.jp/about/information_disclosure/personal_info)を参照ください。

＜開示請求及び問合せ先＞	
広島大学 総務グループ	〒739-8511 東広島市鏡山一丁目3番2号 Tel 082-424-5014